



アパレル

流通

SUBJECT

購入者の利便性を最優先した品揃え
膨大な在庫保有の弱点だった保管効率と
受注処理能力を向上させたい

RESULTS

一日あたりの処理能力が
移転前よりアップ



生産性

1注文を約2点と換算すると、
オートストアの受注処理件数
は、一日あたり3,600件に上
り、従来型のピッキングと合わ
せて合計6,000件の処理が可
能となりました。

30% ↑

平置き保管の倉庫時
と比較して



保管効率

120万点にも及ぶ在庫数で、倉庫は
飽和状態に。時には複数の倉庫に分
かれて保管していましたが、新セン
ターに集約。在庫の3割にあたる商
品数の保管をオートストアが担い、
保管効率が4~5倍に向上しました。

4倍



株式会社 白鳩

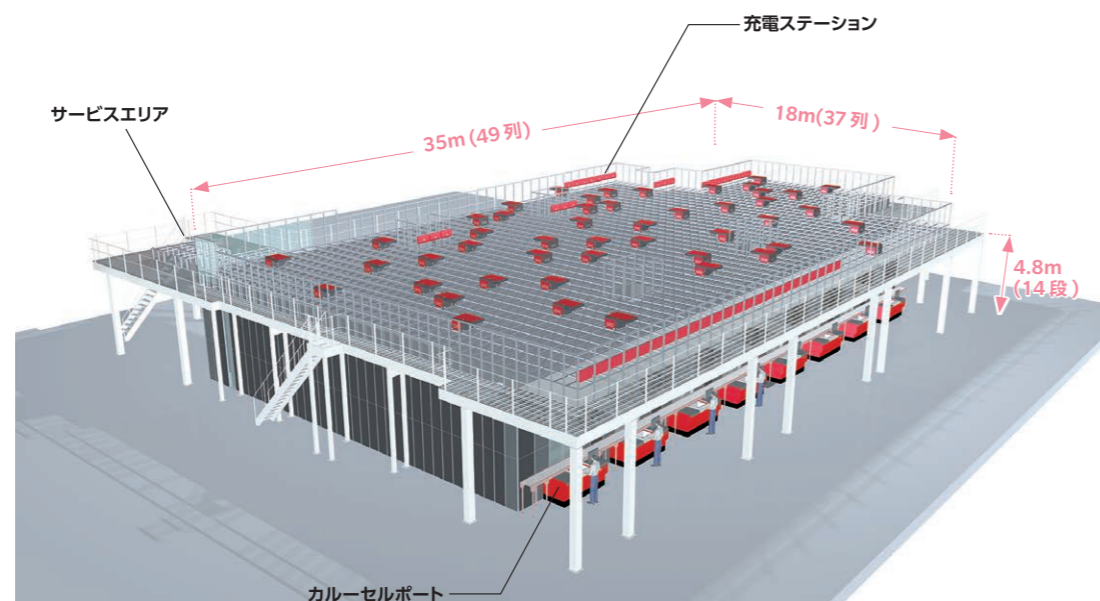
本社屋兼物流センター

拡大するEC需要に対峙する新社屋兼物流センター

インナーウェアECを手掛ける白鳩様は、2020年8月に本社屋兼物流センターを
新設されました。同社にとって5回目の移転となるその背景には、顧客の利便性を
優先し、在庫を多数抱える販売方式を取っている点にあります。主力製品の女性用
下着ではカラー・サイズ共にバリエーションも豊富に揃え、その在庫数は120万点
にも及びます。在庫保有による迅速な発送が強みであった白鳩様が、膨大に増加
する在庫量と迫られる効率化への解決策として導入されたのがオートストア。大容
量のストレージだけでなく、高く評価されたのが、そのピッキング性能です。48台
のロボットが注文された商品の入ったピンをポートまで運ぶので歩き回ることがな
く、知識や熟練度に左右されないピッキング作業で、処理件数は移転前より大幅に
向上しました。またメーカーとの連携で、入荷した箱をそのままピンに入庫するなど
運用改善にも積極的で、オートストアと共にさらなる効率化を進められています。

所在地	京都府京都市伏見区竹田向代町 22 番地
延床面積	15,300㎡ (5階建)
竣工	2020年8月

Robot	ロボット台数 48台
Port	カラーセルポート 入出庫兼用 8か所
Bin	ピン数 19,656箱 330ピン/14段積み
Performance	入庫能力 104 (計算値) ピン/時間 出庫能力 1,096 (計算値) ピン/時間 ※入庫1ポート、出庫7ポートで 運用した場合



在庫の3割にあたる約3万SKUの商品を格納



床から隙間なく積み上げられたピン(コンテナ)



入出庫作業を行うポート(ピッキングステーション)

写真上/高頻度オーダー商品が
上段に集約されていく仕組みや
事前にオーダー情報を送信し、
作業前に上段に集約する運用で
スピーディーな出庫を実現。

写真左/密閉された状態で格納
されるため、セキュリティや衛生
面にも配慮。手前には将来の増
設スペースを確保。写真右/
次々とピンが運ばれてくるポ
ートでは、担当者がその場を動く
ことなく、商品の補充・ピッキ
ングを行っている。